

# Forum

Arts Management for Social Inclusion

## 『社会包摂とアートマネジメント』

社会包摂 (social inclusion) とは、失業や薬物中毒、家庭崩壊など従来型の社会国家施策が機能不全に陥るなかで、社会に広がった多様な社会的問題を解決しようとする政策課題として、90年代のEUにおいて浮上してきた概念です。孤立、孤独、排斥に押しやられがちな人々に対して、社会とつながるチャンネルを確保し、人々の相互関係や信頼感を回復させることによって、不当な差別や排除のないコミュニティをつくる実践を意味します。

チャンネルづくりの媒体としてアートが注目され、アメリカ合衆国や英国でのコミュニティアートやオーストラリアのコミュニティ文化開発といった流れを形成しましたが、政権の交代によって予算が削減されるなど、まだ安定した社会的インフラにはなっていません。日本においても少々遅れて、派遣村以降、反貧困の流れのなかで試行的な取り組みが政府レベルではじまっています。本事業は、日本におけるその先駆的なアートマネジメントを学ぶものです。

平成26年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」  
社会包摂型アートマネジメント・プロフェッショナル育成事業

# アートの活用形？

社会包摂型アートマネジメント・プロフェッショナル育成フォーラム

2015年3月11日 | 水

18:00-20:30

大阪市立大学

文化交流センター ホール

〔大阪駅前第2ビル6階〕

- 主催 大阪市立大学  
共催 一般財団法人たんぽぽの家  
NPO法人こえとことばとこころの部屋  
NPO法人cobon  
協力 チュラロンコン大学(タイ)  
ジムトンプソン・アートセンター(タイ)  
ブレイカープロジェクト  
特別協力 ブリティッシュ・カウンシル  
助成 平成26年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」

2013年に大阪市立大学は社会包摂型アートマネジメント・プロフェッショナル育成事業「アートの活用形？」を始めました。被災地や貧困地域、病院や障害者施設といった、問題を抱えたり社会から遠ざけられたりしている地域や施設において、アートを通して解決の道筋や回復の手立てを見出し、それを効果的に動かせるプロフェッショナルなアート・マネジャーの育成をめざしています。そこで実施されたプロジェクト実践を振り返るフォーラムです。

本年度は、5つの場所や施設を舞台に、プロの講師の手ほどきをうけながら、延べ20名ほどの方々がチャレンジしました。小学校など教育の現場においてアートと子どもをつなぐ「タチヨナプロジェクト」、貧困による様々な課題を抱える釜ヶ崎において表現と学びの場をつくる「こえとことばとこころの部屋(ココルーム)」、日本ではじめて障害のある人のアートセンターをつくり多様な表現を生み出している「たんぽぽの家 アートセンター HANA」、高齢化と老朽化がすすむ地域において草の根的にアートの実践に取り組む「ブレイカープロジェクト」、日本でも先駆的にアートを取り入れたプログラムを手がける「大阪市立大学医学部附属病院」が、その現場です。

本フォーラムでは、各プロジェクトの講師による報告の後、そこから抽出される手法や課題について話し合い、今後のプログラム展望を浮かび上がらせることを目的としています。

## フォーラム・プログラム

第一部 | 18:00-19:15 | ー各プロジェクト実践の報告ー

### A 病院を元気にするアートプロジェクト

森合音 | 四国こどもとおとなの医療センター ホスピタルアートディレクター

### B こども熱帯音楽祭

小島剛 | NPO法人cobon タチョナプロジェクト プログラムディレクター

### C HANAアートフェスティバル

24時間こたつラヂヲ ～ひねってまたいで音楽で～

岡部太郎 | 一般財団法人たんぼの家 事務局長

### D 「つくる」ことを軸にした共有の場づくり

松尾真由子 | プレーカープロジェクト 事務局長

### E 釜ヶ崎オ!ペラ

上田假奈代 | NPO法人こえとことばとこころの部屋(ココルーム) 代表

第二部 | 19:30-20:30 | ーラウンドテーブルー

プロジェクト実践発表者(講師)と受講生によるディスカッション

日時 2015年3月11日|水 18:00-20:30 (受付開始 17:30)

会場 大阪市立大学 文化交流センター ホール  
〔大阪駅前第2ビル6階〕

対象 本事業の受講生に限らず、どなたでもご参加頂けます。

料金 無料(定員 60名)

申込方法 氏名、年齢、職業、連絡先(電話番号/メールアドレス)を明記のうえ、下記メールアドレスにて**3月6日まで**にお申し込みください。

問合先 大阪市立大学文学部内 AMP事業事務局  
E-mail [artsmanagement@lit.osaka-cu.ac.jp](mailto:artsmanagement@lit.osaka-cu.ac.jp)  
URL <http://artsmanage.jp>  
TEL 06-6605-2026 (月・水・金 10:00-16:00)



#### 会場アクセス

大阪市立大学 文化交流センター ホール  
〒530-0001大阪市北区梅田1-2-2-600  
大阪駅前第2ビル6階

JR東西線「北新地」駅より徒歩3分  
JR「大阪」駅より徒歩10分  
地下鉄四つ橋線「西梅田」駅より徒歩5分  
地下鉄御堂筋線「梅田」駅より徒歩10分  
地下鉄谷町線「東梅田」駅より徒歩10分

Photo: A.B.C.D | 仲川あい

#### A 病院を元気にするアートプロジェクト

連携先 | 大阪市立大学医学部附属病院

実施期間 | 2014年9月～2015年2月

講師 | 森合音 アーティスト | 森口ゆたか

「質の高い安全な医療を提供する」ための環境づくりをめざし、職員へのヒアリングなどを通して課題やニーズを洗い出すところからスタート。現場の声に耳を澄まし、対話から生まれる新しい病院のかたちを、アーティスト、職員、そして受講生と共に探ってゆく。今回は放射線科の待合室がワークショップの現場となった。



#### B こども熱帯音楽祭

連携先 | NPO cobon タチョナプロジェクト

実施期間 | 2014年7月～8月

講師 | 小島剛 アーティスト | 横沢道治、PIKA☆

子どもたちがアートに触れる様々なプログラムを提供するタチョナと連携して行った「こども熱帯音楽祭」が目的とするのは、子どもたちの個性と発想力を伸ばし、様々な課題を創造的に解決していく力を育んでゆくこと。関西を代表する打楽器奏者2名がそれぞれ小学校に出向き、子どもたちと音楽を創作するワークショップを実施し、その創意工夫の成果をコンサートで発表した。



#### C HANAアートフェスティバル 24時間ラヂヲ

連携先 | たんぼの家 アートセンターHANA

実施期間 | 2014年6月～2015年1月

講師 | 岡部太郎 アーティスト | sonihouseほか

日本で初めての障がいのある人のアートセンター「HANA」を運営するたんぼの家では、FMおよびUSTREAMによる発信をとおして、近・中・遠距離の人たちとコミュニケーションをはかり、福祉施設の使い直し&使い倒しを目的とした24時間限定オープンラジオ局を開局。「音楽とコミュニケーション」をテーマにアートセンターHANAが公開収録の場となって、多彩なゲストによるトークありワークショップありのプログラムを展開。



#### D 「つくる」ことを軸にした共有の場づくり

連携先 | プレーカープロジェクト

実施期間 | 2014年9月～2015年2月

講師 | 松尾真由子

ゲスト講師 | クリッティヤ・カーウィーウォン

アーティスト | 藪内美佐子

日常のなかに創造の現場を生み出していくことをめざし、草の根的なアートの取り組みを継続して展開するプレーカープロジェクト。空き店舗を活用した創造活動拠点において、フロッタージュや編み物などのワークショップを実施した。アーティストと地域の人々が相互に影響を与えながら、共働の可能性や場のあり方を探求する。



#### E 釜ヶ崎オ!ペラ

連携先 | NPOこえとことばとこころの部屋(ココルーム)

実施期間 | 2015年1月～2月

講師 | 上田假奈代 ゲスト講師 | マット・ピーコック

アーティスト | ロバート・ギルドン、野村誠ほか

寄せ場(日雇い労働市場)・釜ヶ崎も変化し、高齢者が

多く暮らすまちで活動するココルーム。様々な人々との出会いをつむぎ、表現と学び合いの場をつくっている。本プログラムでは、釜ヶ崎芸術大学による様々なプログラムの発表に合わせて、イギリスよりホームレスの人々とオペラを通じて活動するストリートワイズ・オペラを招き「釜ヶ崎オ!ペラ」を制作、発表。

